

第 397 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 6 年 1 月 9 日 (火) 16:00～18:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] Atomic Skipper の NOW ON Skipper
[放送日時] 令和 5 年 12 月 13 日 (水) 21:30～22:00
令和 6 年 1 月 3 日 (水) 21:30～22:00
[出演者] Atomic Skipper
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康
委員 服部乃利子 委員 加藤裕治
委員 小野晃司 委員 土屋維子
[会社] 取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充
編成制作部専任部長 鈴木秀明
編成制作部副部長 安原明子
5. 事務局報告 ○ 年末年始の K-MIX のトピックスを報告

6. 番組審議

- [番組名] Atomic Skipper の NOW ON Skipper
[放送日時] 令和 5 年 12 月 13 日 (水) 21:30～22:00
令和 6 年 1 月 3 日 (水) 21:30～22:00
[出演者] Atomic Skipper (Vo 中野、Ba&Cho 久米、Gt&CHO 神門、Dr&Cho 松本)
[番組内容] 静岡県浜松市で結成された 4 人組ロックバンド
Atomic Skipper (略称「アトスキ」)。
2023 年にメジャーデビューも果たしたアトスキが、
アトスキ、そして地元・静岡をどんどん広めていくために、
リスナーと共にあらゆることを考え、チャレンジしていく
ラジオプログラム。

[聴取・合評での主な意見]

土屋委員

地元出身のパーソナリティの番組は、比較的、内輪の話が多くなる傾向があると思っていたが、案に相違して、普通に番組を楽しむことができた。この点は評価できる。番組を聴きながら、地元出身のパーソナリティを全国にはばたかせる事が出来るのかを考えさせられた。番組を通して、
「次の L I V E に行きたい。」「もっと、本人たちが作った曲を聴きたい。」と思わせてくれる要素があっても良いと思う。

小野委員

ボーカルの中野さんのトークに才能を感じる。歌声も良い。「中野さん中心で成立している」という観点で番組を聴くと、声質も良く、早口でもしっかりトーク内容を聴きとることができる。また、言葉遣いはまだ完成されていないものの、若者らしさがありながら、決して相手を見下していない誠実さをトークに感じて、番組自体がとても良い仕上がりになっている。

加藤委員

パーソナリティ4人の会話が、「若いっていいな。」「楽しそうだな。」「夢があるな。」と思わせてくれて、悪い気分させない“今の若者の雰囲気”を伝えてくれる。また4人の役割分担がよくできていて、ボーカルの中野さんを中心に、良いパス回しが行われていた。トーク内容も内輪話はなく、SNS世代の「あるある話」をうまく構成している。ミュージシャンとしても、番組を通して音楽性をどのように伸ばして行くかが楽しみである。

服部委員

ボーカルの中野さんが番組を引率しながら、「若い・楽しい・仲が良い」という方向性がはっきり出ていて、リスナーも楽しめる番組。今回聴いた2回は、12月（クリスマス前）と1月（正月）という「イベント月」の放送回だったが、今後「通常月」のトークをどう設定して行くのか。また、今後、番組を通して、「知名度を上げる。」「メンバーそれぞれを推す。」など、25分という時間で、どう意識するのかでバラエティさが増すと思う。番組内で毎回、自分たちの演奏・歌声を紹介するので、オリジナル曲に関するトークを意識的に行っても良いのではないだろうか。

角田副委員長

地元出身として、聴取者と距離感の近いミュージシャンであり、ボーカルの中野さんは、一定の世代に支持される魅力を持っていると思う。現段階では、新しい才能を発掘したと思うが、今後この個性をどう育てて行くのかに注目したい。これから、ミュージシャンとして“アトスキ”をどう、押し出して行くのか。例えば、番組の中に、自分たちの曲に対する、説明や思いを折り込んでゆくのか…等、今後、増えるであろう新規のファンに、「音楽的」に「パーソナリティ的」に、どう魅せて行くのかを本人たちに意識させることが大切だと思う。

木宮委員長

番組としては、「これでよいと思うが、はたして、これで本当に良いのか」、を問われる番組であると思う。『メンバー4人が仲良し』は有りで、皆が皆を肯定して、番組を進める、その良さはあると思われる。番組としても「楽しく仲良く。」に終始することは、何ら問題ないものの、パーソナリティ（メンバー）は、自分たちで番組の内容をどう思っているのか。具体的には、この番組の内容を、「今の流れのまま、楽しい進行でずっと、続けて行く」のか。「番組時間25分を自分たちを知ってもらう絶好の場」とするのか。番組開始から3か月が経って、ラジオの雰囲気、番組内容に慣れてきたところで、次の段階を見つめる時期であるのかもしれない。聴いていて、決して、悪い番組ではないが、もっと、(いろいろな意味で)『その先の世界に行ける番組』であると思う。

会社サイド

今回も、貴重なご意見をありがとうございます。これは、K-MIXが推すミュージシャンの番組の一つであり、今後、さらなる仕掛けが予定されていますので、番組はもちろん、パーソナリティに注目をお願い致します。

その後、タイムテーブルを基に、委員からのK-MIX番組へのご意見ご感想をいただき、審議会を終了。

以上

次回開催日 令和6年2月6日(火) 11:00~13:00を予定

番組審議会委員長
木宮敬信